

54 シマヒレヨシノボリ

(ハゼ科)

兵庫県ランク:要調査

Rhinogobius sp.BF

環境省ランク:NT

種の概要

全長4cm程度で、ヨシノボリ属の中では小型の種である。池や沼、それにつながる水路、河川中・下流域のワンド、河川敷の池など流れの緩やかな場所に生息する。陸封型のヨシノボリで、淡水域で一生を過ごす。瀬戸内海沿岸地域を中心に兵庫県の日本海側にも分布するが、自然分布については不明な点が多い。



写真提供:兵庫県立人と自然の博物館(撮影:増田 修)

県内における生息状況及びその他特記事項

県内では日本海側の円山川水系、瀬戸内海側、及び淡路島の各水系に生息する。本種は陸封性のヨシノボリで、ひょうごの川・自然環境調査を代表とする大規模な魚類相調査では調査対象にならないため池にも多く生息すると考えられることから、県内の生息状況は未だ不明な部分がある。

保護上の留意点

本種が生息する河川中・下流域のワンドや平野部のため池は人間の活動圏に近く、河川改修や埋め立てなどによる生息地消失の恐れがある。また、生息環境が重複する外来魚、オオクチバスによる捕食が重大な脅威であるほか、国内移入されたほかのヨシノボリ類との交雑による遺伝的攪乱も懸念されている。

県内分布

神戸市、加古川市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、多可町、稲美町、たつの市、太子町、豊岡市、篠山市、洲本市、南あわじ市

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	
	捕獲	
	遺伝	△
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	

